

心筋シンチグラフィにおける定量指標とその診断精度に関する研究

心筋シンチグラフィは心筋梗塞や狭心症などの心臓疾患の診断に役立っています。しかし、心筋は常に動いているために病変部にボケが生じ診断が困難な場合があります。今回、心電図波形を用いて病変が一番検出しやすい心筋の拡張期のみを取り出して止まった心筋を画像化できる技術を考案しました。拡張期の心筋画像では正常領域と虚血（心臓に血液が十分いきわたっていない状態）領域との差が現れやすいと言われています。この研究では異なる画像処理の方法を用いて拡張期像を作成し、それぞれの診断精度を検討します。

1. 研究課題名

心筋 SPECT の拡張期像における診断精度の検討

2. 研究の対象

2017年12月から2023年12月までに心臓核医学検査を受けられた患者様の核医学検査画像を使用します。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、データは使いませんし、またこれからの治療に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

3. 研究の目的について

核医学検査のデータを元に匿名化データを作成し、その画像を異なる画像処理を用いて定量値を算出し、画像処理の違いによる数値の違いを明らかにし、その診断精度を調べることを目的としています。

4. 研究の方法について

2017年12月から2023年12月までに心臓核医学検査を受けた患者様について、その画像データや、電子カルテに記載されている診療情報を使います。画像データは視覚的および定量的に解析され、視覚的評価をする場合は、核医学診療科医師もしくは診療放射線技師で実施します。そのときに患者様のお名前など個人情報を削除します。収集したデータは学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。

5. 研究に用いる情報の種類

画像サーバーのデータより抽出した情報：核医学検査の画像データおよび心臓カテーテル検査の造影画像データ。必要に応じて、冠動脈造影 CT 画像、心エコー画像。

電子カルテのデータより抽出した情報：年齢、性別、身長、体重、疾患危険因子、各種検査データなど

6. 予想される利益と不利益について

この研究ではデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者様に直接の利益はありません。不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そのようなことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いように細心の注意を払います。

7. プライバシーの保護について

この研究では、患者様のお名前に番号をつけた一覧表を作成しますが、統計処理を行う際に匿名化データにして、個人を特定できないようにします。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。

8. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

9. 研究責任者

研究代表者：山口裕祐 地域医療機能推進機構大阪病院 放射線室

10. 研究に関する窓口

研究内容についてご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 4-2-78

独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 放射線室

電話番号：06-6441-5451

研究責任者：山口裕祐